

対象校No.

注1

学校コード F128310108794

注2

変更年度

令和

5年度

認可

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

兵庫大学 生涯福祉学部 社会福祉学科

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人睦学園

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部 経営企画課

職名・氏名 カチョウ コバヤシ ダイスケ
課長・小林 大輔

電話番号 079-427-5111（内線：6417）

（夜間） 079-427-5111（内線：6417）

e-mail p-office@hyogo-dai.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例）〇〇大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
①生涯福祉学部社会福祉学科	
2. 既設大学等の状況	3
3. 附帯事項等に対する履行状況等	4

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人睦学園

(2) 大 学 名

兵庫大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒675-0195

兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ワタナベ アズマ) 渡 邊 東 (平成20年1月)	(コウノ マコト) 河 野 真 (令和4年11月)	任期満了に伴う変更(5)
学 長	(コウノ マコト) 河 野 真 (平成28年7月)		
学 部 長	(イトウ ヒデキ) 伊 藤 秀 樹 (令和5年4月)		
学科長等	(オグラ タケシ) 小 倉 毅 (令和5年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画								定員変更年度	学生募集の停止 について	備 考			
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員								
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後							
生涯福祉学部 社会福祉学科 学士（社会福祉学）	4 年	40 人	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 5 人 4年次 0 人	160 人	170 人	令和5 年度	—					
対象年度 区 分	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）
	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期						
A 入学定員	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	40人 — 人 （ 5 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	40人 — 人 （ 5 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	40人 — 人 （ 5 ） [—]	—	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.88倍	一倍
志願者数	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	102 人 （ 0 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	85 人 （ 1 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	61 人 （ 3 ） [—]	— 人 （ — ） [—]			
受験者数	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	101 人 （ 0 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	81 人 （ 1 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	59 人 （ 3 ） [—]	— 人 （ — ） [—]			
合格者数	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	88 人 （ 0 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	69 人 （ 1 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	53 人 （ 3 ） [—]	— 人 （ — ） [—]			
B 入学者数	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	— 人 （ — ） [—]	44 人 （ 0 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	45 人 （ 0 ） [—]	— 人 （ — ） [—]	33 人 （ 2 ） [—]	— 人 （ — ） [—]			
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	1.10	—	1.13	—	0.83	—			

(注)・当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「—」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について**外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について**内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「（5） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学 の 名 称	兵 庫 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
現代ビジネス学部	4	120	3年次人	484	-	0.90	-	-	平成28	兵庫県加古川市平岡町新在家2301	令和4年度より入学定員変更(100→120)			
現代ビジネス学科	4	120	3年次人	484	学士(現代ビジネス学)	0.90	-	-	平成28	同上				
健康科学部	4	120	3年次人	490	-	0.63	-	-	平成13	同上				
栄養マネジメント学科	4	80	3年次人	330	学士(栄養学)	0.53	-	-	平成13	同上				
健康システム学科	4	40	0	160	学士(健康科学)	0.83	-	-	平成13	同上				
教育学部	4	100	3年次人	305	-	0.63	-	-	令和5	同上	令和5年度開設			
教育学科	4	100	3年次人	305	学士(教育学)	0.63	-	-	令和5	同上				
看護学部	4	90	0	360	-	1.13	1.12	令和7	平成29	同上				
看護学科	4	90	0	360	学士(看護学)	1.13	1.12	令和7	平成29	同上				
生涯福祉学部	4	40	3年次人	220	-	0.86	-	-	平成18	同上	令和5年度から3年次編入学定員変更(0→5)			
社会福祉学科	4	40	3年次人	170	学士(社会福祉学)	0.88	-	令和4	平成18	同上				
こども福祉学科	4	0	3年次人	50	学士(こども福祉学)	0.80	-	令和4	平成25	同上				
大学全体	4	470	3年次人	1,859	-	0.82	-	-	-	-	令和4年度学生募集停止			

大学 の 名 称	兵 庫 大 学 短 期 大 学 部										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
保育科第一部	2	50	-	130	短期大学士(保育学)	0.43	-	-	昭和32	兵庫県加古川市平岡町新在家2301	令和5年度入学生より入学定員変更(100→80) 令和7年度入学定員変更(80→50)			
保育科第三部	3	80	-	240	短期大学士(保育学)	1.11	1.10	-	昭和46	同上				
短大全体	2 3	50 80	-	370	-	0.87	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等

(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 看護学研究科 看護学専攻（D）	【AC】 指摘事項 (改善) 定年規則に定める退職年齢（年度末で67歳）の教員は、本研究科の完成年度末をもって契約期間満了により退職した。「看護学部等人事構想委員会」において定年退職者にあわせた計画的な教員採用計画を策定し、令和3年度より公募を開始した。本計画に基づき、令和5年度に新たに3人を新規採用した（AC教員審査済）。引き続き、採用計画に基づき、年齢構成、教育経験、研究領域のバランスを踏まえた採用人事を行っていく。（5）	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (教育学部教育学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 昨年度の学生募集については、まずは教育学科の新設広報の認知拡大を図るために、各種制作物を作成（簡易リーフレット、ポスター、特設サイト等）するとともに、受験媒体及びWEB広告の掲出など広く広報を実施した。また、年間318件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約4,250人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校内で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員も参加（延べ2校29人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、高校訪問（指定校通知含む）や公式サイト、受験生応援サイトを活用した発信に加え、SNS（Instagram、Facebook）による情報発信も実施した。 結果、オープンキャンパスへの動員の248人（改組前のこども福祉学科と比較して1.58倍）に繋がり、参加者の入試への出願率50.5%となった。志願者の増加（昨年の192.3%）、入学者の増加（昨年の181.6%）となったが、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。 今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。（6）	履行済

	兵庫大学の既設学科等（健康科学部栄養マネジメント学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	【AC】 指摘事項 (改善)	昨年度の学生募集については、年間318件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約4,250人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員が参加（延べ5校41人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信に加え、SNS（Instagram）による情報発信も実施した。 しかしながら、結果は、18歳人口の減少や栄養分野の不人気もあり、オープンキャンパスへの動員は減少（昨年の77.2%）し、参加者の入試の出願率も48.8%と伸びず、志願者の減少（昨年の87.7%）、入学者の減少（昨年の82.8%）となり、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。（6）	履行済	昨年度の学生募集については、年間340件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約4,500人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員が積極的に参加（延べ7校82人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信に加え、大学公式SNSに加え、学科独自のSNS運用により、学科の学びが分かる授業の様子や学科教員の紹介など、高校生への情報発信を強化した。また、年内とりわけ専願制入試の入学者獲得を目的とした育成型のスカウティング入試を導入し、志願者獲得に努めた。結果、オープンキャンパスへの動員の増加（昨年の1.22倍）に繋がったが、参加者の入試への出願率は39.6%（昨年48.8%）と低調となり、志願者の減少（昨年の66.0%）、入学者の減少（昨年の75.5%）となり、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。今年度は、高校生の進路決定の継続的な早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本に、さらなる学生募集の強化を図るため、学科に入試広報専門アドバイザー（教員）を配置し、オープンキャンパスの内容を充実させるとともに、高校生とのコミュニケーションを強化し、スカウティング入試での入学者獲得（年内専願制）を強化する。また、本学科の課題の1つでもある競合校と比較して学費が高いことに対する改善案として新たに導入した健康科学部奨学制度（年間30万円の給付、最長4年間）を広く周知し、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。（6）
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (教育学部教育学科)	【AC】 指摘事項 (改善)	昨年度の学生募集については、教育学科の開設3年目の広報として、認知拡大を図るために、年間446件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約7,300人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員が積極的に参加（延べ23校437人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信を強化するため、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信に加え、SNSにおいては、Instagramに加え、新たにTikTokを活用し、動画を用いた情報発信も実施した。併せて、簡易リーフレットを作成し、当学科を志望する高校生に広く配付した。 また、年内とりわけ専願制入試の入学者獲得を目的とした育成型のスカウティング入試の実施強化や指定校設定数の増加など、志願者獲得に努めた。高校生の進路選択において、全国的に教育分野のマーケットが厳しい中で、結果、オープンキャンパスへの動員は減少（昨年比74.9%）したが、志願者は微増（昨年の106.9%）、入学者は微減（昨年の97.0%）となった。留意事項を改善できるような学生数の確保までに至らなかった。（7）	履行中	今年度は、教育学科の完成年度を迎えるにあたり、1期生の教員採用実績及び就職実績をタイムリーに情報発信し、学生募集に繋げて行く。教育学科の開設4年目・完成年度広報を改めて拡充（特設サイト及び簡易リーフレット、ポスター制作、SNS認知施策等）する。課題であるオープンキャンパス参加者の増加施策を講じるとともに、年内入試での入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本に、さらなる学生募集の強化を図る。とくに高校との接触機会の拡充を図り、接触した生徒の出願・歩留まりを高めるため、入試広報専門アドバイザー（教員）への研修を実施し、高校生とのコミュニケーション強化を図る。併せて、オープンキャンパスの内容を充実させ、参加者の満足度を上げることで、スカウティング入試をはじめとする専願制入試での入学者獲得に繋げる。また、スポーツ・吹奏楽入試においては、受験対象者に、選手及び新たにマネージャーを加えることで、新規層の獲得を行う。その他、年明け入試においても、総合型選抜の実施や一般選抜における特待制度の導入など、入試改革を進めることで、入学者獲得に繋げる。また、出願・入学実績のある重点校はもとより新規層の獲得においても兵庫県内を中心にターゲット県（中四国、沖縄）への募集活動を積極的に実施していく。（7）

兵庫大学の既設学科等（健康科学部栄養マネジメント学科）の収容定員未充足の改善に努めること。		【ＡＣ】 指摘事項 (改善) 昨年度の学生募集については、年間446件の進学相談会（校内・会場）に積極的に参加し、高校生（約7,300人、低学年も含む）との接触機会をつくった。高校で行われる進学相談会（模擬授業・分野別）には学科教員が積極的に参加（延べ19校716人と接触）した。さらに学科の教育内容の理解促進や魅力発信を強化するため、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信に加え、SNSにおいてはInstagramに加え、新たにTikTokを活用し、動画を用いた情報発信も実施した。その他、大学公式SNSに加え、学科独自のSNS運用により、学科の学びが分かる授業の様子や学科教員の紹介など、高校生への情報発信を強化した。 また、年内とりわけ専願制入試の入学獲得を目的とした育成型のスカウティング入試を実施強化し、志願者獲得に努めた。 その他、本学科の課題の1つでもある競合校と比較して学費が高いことに対する改善策として新たに導入した健康科学部奨学制度（年間30万円の給付、最長4年間）を広く周知し、出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施した。 高校生の進路選択において、全国的に栄養分野のマーケットが厳しい中で、オープンキャンパスへの動員は減少（昨年比84.6%）したが、志願者は微増（昨年の103.0%）、入学者は微増（昨年の110.0%）となった。結果、留意事項を改善できるような学生数の確保までに至らなかった。 （７）	履行中	今年度は、当該学科の学科名称の変更（予定）及びコース名称の変更、学納金の改定、教育改革（他学科の科目受講等）など、学科の魅力を広く高校生に周知し、学生募集に努める。高校生の進路決定の継続的な早期化、年内志向を念頭に置きながら、年内入試での入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本に、さらなる学生募集の強化を図る。とくに高校との接触機会の拡充を図り、接触した生徒の出願・歩留まりを高めるため、入試広報専門アドバイザー（教員）への研修を実施し、高校生とのコミュニケーション強化を図る。併せて、オープンキャンパスの内容を充実させ、参加者の満足度を上げることで、スカウティング入試をはじめとする専願制入試での入学獲得に繋げる。また、スポーツ・吹奏楽入試においては、受験対象者に、選手及び新たにマネージャーを加えることで、新規層の獲得を行う。その他、年明け入試においても、総合型選抜を実施するなど、入試改革を進めることで、入学者獲得に繋げる。また、出願・入学実績のある重点校はもとより新規層の獲得においても兵庫県内を中心にターゲット県（中四国、沖縄）への募集活動を積極的に実施していく。 （７）
--	--	--	------------	---

(注)・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和７年度から新たに調査対象となった学科等又は令和６年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。